

# 四谷地区三小学校 統合協議会だより

平成 16 年 3 月 29 日

## No. 5

3 月 22 日(月)19 時より四谷第三小学校で第 5 回の協議会が開催されました。

今回は、事務局が校地案のタキ台として作成した、一小、四小それぞれを校地とした場合の比較表を参考として、さらに突っ込んだ協議が行われました。

前回同様に、各校 PTA からなるべく早い統合を求める意見が、また両校長先生から、落ち着いた教育環境をつくるために、一日でも早く統合の大枠を決定してほしい心情が切々と訴えられました。しかし地域関係者の反論もあり、今回も校地と実施時期の決定には至りませんでした。

結局座長の提案により、統合協議会の方向として 19 年度に一小校地での統合を目指す方針が確認され、次回以降もこの方針への全体の合意を目指していくことになりました。

主な発言内容は下記のとおりです。次回は 4 月 7 日(水)の 19 時より、四谷第四小学校で開催の予定です。

## 主 な 発 言 内 容

- ・教委としては旧一小が校地としてふさわしいのではないかと考えている。また時期は大方の皆さんのご希望どおり、なるべく早く、19 年度が良いと考えている。
- ・19 年度案は教委の主導ではあるが妥当性がある。学校選択制のなかで今の状態が続けば子どもたちはますます逃げていく。早く方針を決めて保護者に説明できるようになることが是非とも必要。
- ・四小 PTA としては賛否両論あるが、多数意見として校地は一小でやむを得ないという結論になっている。四小を校地にして 3 年間一小の仮校舎に通うより、最後の 3 年間を四小に通わせたい。
- ・四小 PTA は子どもたちのために苦渋の選択をした。統合協議会に参加した以上良い方向に進んでいきたい。PTA 内部では跡地の活用について、教委から明確に方針を示してほしいという意見が出ている。
- ・PTA が圧倒的多数で統合に合意したのは、保護者たちが四小が吸収されてしまう恐れを抱いている証拠。校長としても早く統合の見通しをつけて説明できるよう望んでいる。
- ・いつまでも方針が決まらなければ保護者に見放されてしまう。会社がつぶれそうなのにこのままでいいよと言っているようなもの。
- ・今日は統合協議会としての方向性だけでも決定したい。大方の意見は 19 年度に一小校地。その方向での合意を目指したい。